



謹 賀 新 年



12月の読書旬間

12月に読書旬間がありました。保護者の皆様には親子読書の取組にご協力いただき、誠にありがとうございました。子どもたちは、様々なジャンルの本を読んだり好きな本を見つけたりすることができたようです。

このほかにも旬間中は、お話やさんによるストーリーテリングや「めっきらもっきらの会」の皆様による読み聞かせ、先生方による読み聞かせ、情報メディア委員会による「おすすめの本紹介」や「本と花」企画があり、本に対する興味や関心を高めたり本を読む楽しさを味わったりすることができました。

また、今年度も読書旬間コラボ給食がありました。子どもたちは、「ラピュタの肉団子スープ」や「バムとケロのドーナツ」など書かれた献立表を見ながら、その日の給食を朝から楽しみに待っていました。



読書旬間中、3・4年生は開田こども園で紙芝居「よわむしおばけ」と「もりのポスト」の発表をしました。園児たちが楽しめるようにと、役に合わせて声色を変えるなど読み方を工夫しました。園児たちは時折笑い声をあげ、とても喜んでいました。

3・4年生は、2学期終業式の学年発表でも紙芝居を発表しました。どの子も聞き手を意識した

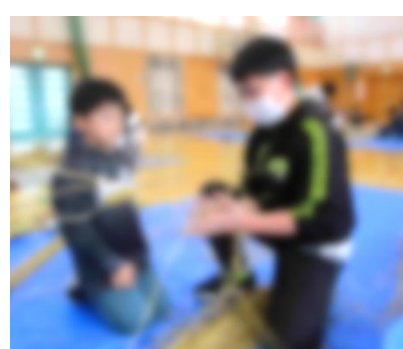
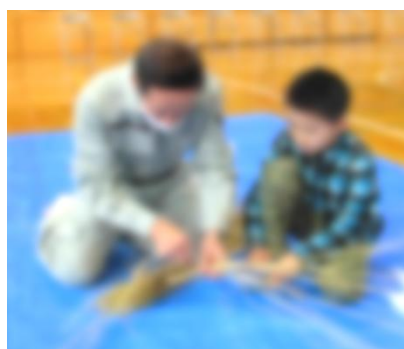


ハリのある声と見事な表現力でお話の世界観を作り出しており、たくさん練習してきた様子がうかがえました。

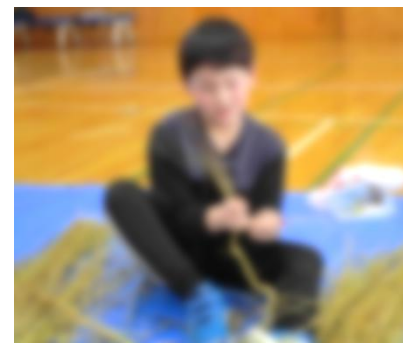
このように、「園児や全校のみんなに紙芝居を楽しんでもらいたい」といった目的意識があると、子どもたちの学習活動は一気に活性化します。今後も、全校や地域にアンテナを広げて、たくさん発信していきたいと思います。

こども園のみんなに楽しんでもらえてよかった。大きな声ではっきりとセリフを言えてよかった。

こども園の人たちが楽しそうにできてうれしかった。来年もまた交流会をしたいと思った。こども園の子たちと仲がよかったからよかった。



12月11日(木)
しめ縄づくり体験



12月11日(木)、開田高原 CS 運営協議会事業の一環で、しめ縄づくりがありました。地域の方々に手ほどきを受けながら、1～6年生が協力し合ってしめ縄を編みました。年に1回の行事ですが、「毎年やっているから(編み方は)覚えているよ。」と頼もしい上級生。今回が初めての1年生には、6年生や地域の方々が寄り添う姿が見られ、大変微笑ましく思いました。



書き初め講習会

12月16日（火）、地域の書道教室の方々を講師にお迎えして、書き初め講習会が行われました。3年生は「つよい心」、4年生は「生きる力」、5年生は「正月の朝」、6年生は「強い信念」を、落ち着いた雰囲気の中で書くことができました。講師の先生方からは、「とてもよくなったね。」「堂々と書けているね。」

など、たくさん声をかけていただきました。

講習会で学んだことを活かして、冬休みに書き初めをした学年もあります。これらの作品は各教室前の廊下に掲示しますので、小学校へお立ち寄りの際にはぜひご覧ください。



警察講話

12月17日（水）、開田高原駐在所長さんを講師にお迎えし、教職員を対象に警察講話（非違行為防止研修）をしていただきました。国道19号・361号における事故の傾向や違反の傾向は、次のようなものだそうです。

| 国道19号・361号 事故の傾向 | 国道19号・361号 違反の傾向 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・はみ出しによる正面衝突が多い。 ・県外者の事故が多い。（25/50件が県外者） →県外車両に気をつける。 ・開田高原は追突事故やスリップ事故が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・速度超過が多い。 ・追い越し禁止車線での追い越しが多い。 ・登坂車線の左側からの追い越しが多い。 |

また、事故は自宅近くで起きることが多いことを教えていただきました。これは、慣れや油断が生じやすいからなのだそうです。このほか、飲酒運転の危険性、自転車運転の罰則等についてもお話しいただきました。気を引き締めて、日々、安全運転を心がけたいと思います。

【 お知らせ 】

○スクールカウンセラーの先生とお話しませんか？

→1月26日（月）午後、スクールカウンセラーの先生がお見えになります。スクールカウンセラーは、児童だけではなく保護者の相談事や悩み事も親身に聞いてくださいます。お時間を調整しますので、お気軽に学校にご連絡ください。

みなさん、おはようございます。全員で、新年のあいさつをしましょう。（間）明るく元気なあいさつができました。みなさんの元気な姿をみることで、先生はとてもうれしいです。

2学期終業式に「一年の計は元旦にあり」という話をしたので覚えていますか？「2026年はこんな年にしたい」「これを目標にがんばりたい」というものを持ち、1月1日の朝、その計画を立てましょうとお願いをしました。一年の計画や目標を立てられましたか。

3学期は45日とたいへん短い学期ですが、とても大切な学期です。

3学期は0学期ともいわれます。理由は、次の学年への準備をしていく学期なので、1学期の前ということで0学期と言われます。だから、一年間のまとめをしながらも次の学年にあがれるように準備をしていくという、とても中身の濃い学期です。特に6年生は、小学校生活のまとめという意味と中学校へ向けての準備という大きな意味を持っています。次の学年に向けて、卒業に向けて、1日1日を大切にしていってほしいと思います。

今日は、「まとめ」と「準備」のうちの「まとめ」に関して、「画竜点睛」という話をします。何と読むのでしょうか。「画竜点睛（がいりょうてんせい）」と読みます。

この言葉は、「まとめが大事ですよ。」ということをお話している言葉で、中国で生まれた言葉です。どのようにして生まれたのかをお話します。

『昔、中国に張僧繇（ちょうそうりょう）という優れた画家がいました。ある時、張さんは南京という町にある安楽寺という寺から、壁に四匹の龍を描いてくださいと頼まれます。引き受けた張さんは、これを見事に仕上げますが、何故か龍に睛（め）を入れませんでした。住職さんが「なぜ目を入れないのですか」と尋ねると、張さんは「目を入れると龍が逃げてしまう」と言いました。それを周りで聞いていた町の人々は信用しません。そんなの嘘に決まっていると言い、「それが本当と言うのなら入れてみせよ」とまくしたてました。張さんは、しぶしぶ一匹の龍に目を入れました。するとどうでしょう。にわかにゴロゴロゴロと雷鳴がなり、ピカピカピカと稲妻が走り、その龍が壁を破って踊り出し、雲に乗って天に昇っていったそうです。後で見ると、睛を入らなかった龍は、そのまま残っていたそうです。以来、安楽寺の壁には三匹の目のない龍が残されているそうです。』

「画竜点睛」の「睛」の字は「瞳」の意味で、「点」は「筆の先などで点をつける」という意味があります。「龍の絵を描いて、瞳を描き入れる」ということですが、この話から「画竜点睛」とは、「物事を完成するために、最後に加える大切な仕上げ」という意味になります。逆に、「画竜点睛を欠く」という言葉で使うことがあります。それは、ほとんど完成しているが、肝心なところが抜けているために、やってきたこと全てがだめになってしまうという意味です。

さて、みなさんは、今まさに仕上げの時です。今の学年の勉強も運動も、進級・進学するための最後の大事な仕上げの3学期となりました。

1年生は、この開田小学校に入学して、小学生として大きく成長してきました。今度は、自分たちより年下のお友だちにいろいろ教えてあげる役になります。

2年生は、低学年ではなく中学年になります。児童会も始まります。

3年生は、児童会活動にもすっかり慣れて、今度は教えてあげる立場です。

4年生は、5年生となり6年生を支えて学校を動かす役になります。

5年生は、最高学年への準備が始まります。学校のリーダーとなる心構えはできたでしょうか。

6年生は、1年間の大事なまとめの時期であるとともに、6年間のまとめの時期です。

では、みなさんに聞きます。最後の仕上げに何をしますか？

「卒業する前に、児童会のノウハウの全てを引き継ごう」

「〇年生の漢字を全部おぼえよう」

「めあてに決めた〇〇がまだ達成していないから、この学年のうちにできるようになろう」などなどあると思います。少し時間を取るのも、残りの45日にできるようになる『最後の仕上げ』を考えてみてください。（間）考えられたでしょうか。

みなさん、ひとりひとりにとって、とっても大事な3学期です。どうかみなさん、それぞれの人が、「ひとみ」になる大事な目標を達成して、一年間のいいしめくくり、最後の仕上げの3学期にしてください。45日しかない3学期の1日1日を大切に過ごしましょう。

いよいよ3学期が始まりました。始業式では5・6年生の代表児童が、3学期の目標を発表してくれました。3学期は、45日間という短い学期ですが、一年間のまとめと新しい学年への準備をしっかりしていきます。3学期もよろしくお願いいたします。